

令和3年度 地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省）

年次レポート

家庭の省エネアンケート、及び、
気候変動・省エネに関する認知度アンケートの
集計結果報告書

令和4年2月

一般社団法人環境創造研究センター

目 次

1. 調査の実施概要	1
2. 回答者及び回答者の家庭、住宅等の属性	7
3. 家庭の省エネアンケート	11
3.1 家電ごとの省エネ行動の実施状況	11
3.2 省エネ行動の実施が難しい理由	19
4. 気候変動・省エネに関する認知度アンケート	25
5. 自由記入欄に記述された意見	33

1. 調査の実施概要

1.1.1 調査の目的

本レポートは、愛知県の一般県民を対象に、家庭の日常生活における省エネ行動の実施状況と、気候変動問題や省エネ・節電に関わる事項に対する認知度・認識度について把握するアンケート調査を実施し、その集計・分析結果を取りまとめたものである。

本調査はウェブサイト等で公開し、推進員、関係機関、当センターが実施する地球温暖化防止活動とその普及啓発活動において、参考資料、参考データとして活用されることを目的に実施した。

1.1.2 調査対象（回収数）

- 令和3年10月22日、23日に行われた下記イベントの来場者および関係者を対象に、調査票の配布・回収を行った。
- 回答済み調査票は、合計40部を回収した（有効票のみカウント）。

開催日	開催地域	調査を実施した出展イベントなど	回収数
10月22.23日	愛知県国際展示場 (常滑市)	SDGs AICHI EXPO 2021	40
サンプル数・計／n数			40

1.1.3 調査方法

調査票	・調査票の規格：A4サイズ・全4頁（表紙の調査趣旨説明、裏表紙のクールチョイスPR含む／設問は約2.5頁）・モノクロ ・調査項目は、「家庭の省エネアンケート」「気候変動・省エネに関する認知度アンケート」の2部構成となっている。 ※前者は全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）が作成した設問項目で、後者は環境創造研究センターが作成した設問項目である。
調査方法	・回答者自身が調査票へ直接記入・記述する調査方法により実施。
配布・回収方法	・イベント来場者が当センターの出展ブースへ立ち寄った際に、調査協力を呼びかけ、その場で記入回答、回収。

1.1.4 調査項目（調査票）

令和3年調査票

温室効果ガス排出実態アンケート調査

調査主体： 全国地球温暖化防止活動推進センター
調査実施： 愛知県地球温暖化防止活動推進センター
（一般社団法人環境創造研究センター内）

環境省の事業である「地域における地球温暖化防止活動促進事業」の一環として、家庭からの温室効果ガス排出実態調査を実施しています。

ご家庭での家電の使用状況、省エネ行動についておたずねしているアンケートです。

ぜひご協力ください！

- 選択肢の番号に○を付けてください。
- または、下線部等に該当する言葉・数字等をご記入ください。
- わからない質問はおおよその回答で結構です。

次のページから質問スタートです

1/4

あなたの省エネ行動について

1. 下の省エネ行動について、あなたの実施状況として「1.」～「4.」の中であてはまるものに、○をつけてください。使っていない、または、持っていない家電などであった場合は、「4.持っていない」に○をつけてください。(○はそれぞれ1つのみ)

家電など	省エネ行動	1.既に実施している	2.これから実施したいと思う	3.これからも実施するのは難しい	4.持っていない
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する 	1	2	3	4
	2 物を詰め込みすぎないようにする	1	2	3	4
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える	1	2	3	4
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する	1	2	3	4
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	1	2	3	4
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する 	1	2	3	4
風呂給湯器	7 間隔をあけずに入浴する 	1	2	3	4
	8 シャワー（温水）は流したままにしない	1	2	3	4
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く	1	2	3	4
電気カーペット	10 設定温度は低めにする	1	2	3	4
石油ファンヒーター	11 室温は20℃を目安にする 	1	2	3	4
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす	1	2	3	4
ガスファンヒーター	13 室温は20℃を目安にする	1	2	3	4
	14 寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	1	2	3	4
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む 	1	2	3	4
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ	1	2	3	4
	17 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンプレーキを活用）	1	2	3	4

「3.」に1つでも○がある人は下の問2へ（なければ右ページの間3へ）

2. (※前の問1で、1つでも「3. これからも実施するのは難しい」に○を付けた方のみお答えください)
「これからも実施するのは難しい」を選んだ最も大きな理由として一番あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1 環境を守れると思わないから | 2 社会の役に立つと思わないから |
| 3 責任を感じないから | 4 やりがいや達成感が得られないから |
| 5 社会から評価を受けられないと考えたから | 6 周囲がやっていないから |
| 7 お金の節約にならないから | 8 設定などが面倒だから |
| 9 快適さが損なわれるのが嫌だから | 10 家族の生活サイクルが個々にちがっているから |
| 11 小さな子どもがいるため難しいから | 12 特に理由はない |
| 13 その他（具体的な理由をお書きください： _____） | |

気候変動、省エネ等で知っていることについて

3. 下の1～10について、あなたが既知っていることには「1.」に、なんとなく聞いたこと・見たことがあると思ったものには「2.」に、今までまったく知らなかったものには「3.」に○をつけてください。(○はそれぞれ一つずつ)

		1. 知っていた	2. 聞いたことがある	3. 全く知らなかった
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 評価報告書」のことを…	1	2	3
2	過去 100 年間で日本の気温は 1.14℃ 上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大 4.8℃ の上昇 (1986～2005 年の平均比) が予測されていることを… 【出典：IPCC 第 5 次評価報告書】	1	2	3
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	1	2	3
4	将来予測 (2076～2095 年) によると、愛知県の真夏日 (最高気温 30℃以上) の年間日数は、現在よりも約 40 日 増加すると予測されていることを… 【出典：東京管区気象台「気候変化レポート 2015」】	1	2	3
5	2015 年にフランス・パリで開催された「COP 21 (気候変動枠組条約 第 21 回締約国会議)」のことを…	1	2	3
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを… 【出典：健康維持がもたらす間接的便益を考慮した住宅断熱の投資評価 日本建築学会環境系論文集第 76 巻第 666 号 735-740 2011 年 8 月】	1	2	3
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代や CO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	1	2	3
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを… (※省エネ性能が高い家電ほど「星」の数を多く表示する、省エネ法に基づき小売事業者が表示するラベルです。)	1	2	3
9	LED ランプはとても省エネであることを… (※電球は LED の方が約 85% も省エネです。) 【出典：省エネ買換ナビゲーション「しんきゅうさん」住まいの省エネ BOOK 2014 年度版】	1	2	3
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ (5 割前後も省エネ) であることを… (※冷蔵庫は 9 年前の製品と比べて約 43%、液晶テレビは 8 年前に比べて約 65% の省エネになっています。) 【出典：2016 年度版 スマートライフおすすめ BOOK (一財)家電製品協会】	1	2	3

※01～10 については、パンフレット「クールチョイス！節エネガイド」をぜひご覧ください。

次のページへ

あなたご自身について

4. 現在お住まいの市町村をお答えください。

愛知県 _____ 市・町・村

5. あなたの性別をお答えください。

1 男性

2 女性

6. あなたの年齢をお答えください。

1 10代以下

2 20代

3 30代

4 40代

5 50代

6 60代

7 70代以上

7. ご自宅の住居形態をお答えください。

1 一戸建て

2 集合住宅

3 その他 (_____)

8. ご自身を含めた、ご自宅の世帯人数をお答えください。

_____ 人

9. 自由記入欄です：省エネ・節電等で疑問に思っていることなどがありましたら自由にご記入ください。

最後に、別紙・環境省「COOL CHOICE」賛同アンケートにお答えください

環境省「COOL CHOICE (クールチョイス)」

賛同アンケート→→→

ご注意：

メールアドレスの記入欄がありますが、
メールアドレスではなく、

ニックネームの記入で結構です。

苗字・名前のおタカナ書きや
お子さん・お孫さんの読称、
ペットの名前などでもOKです！



ご協力を誠にありがとうございました。

1.1.5 集計方法について

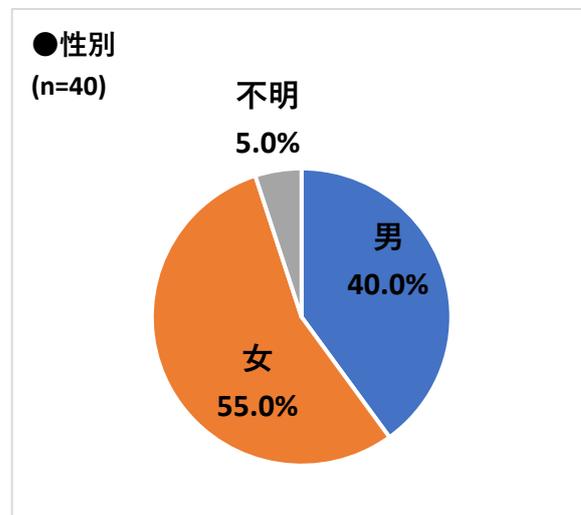
- 集計結果の各割合（％）は、各設問における回答者数を基数(n)として算出しており（「不明」、「無回答」を除いていない）、複数回答の設問では、その合計が 100%を超えることがある。
 - 回答割合の集計・算出は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、数値の合計が 100.0%にならないものもある。
- ※ 各集計結果（表及びグラフ）で、属性ごとの回答者数を基数「n= 」として表示しており、n 数値が少ない（回答者数が少ない）属性の集計結果については、各回答割合の参照に際し、誤差が多分に含まれていることを前提とした注意を要する（今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によってイベントの中止が相次いだため、アンケートの回収数が少なくなっている）。

2. 回答者及び回答者の家庭、住宅等の属性

2.1.1 回答者の属性

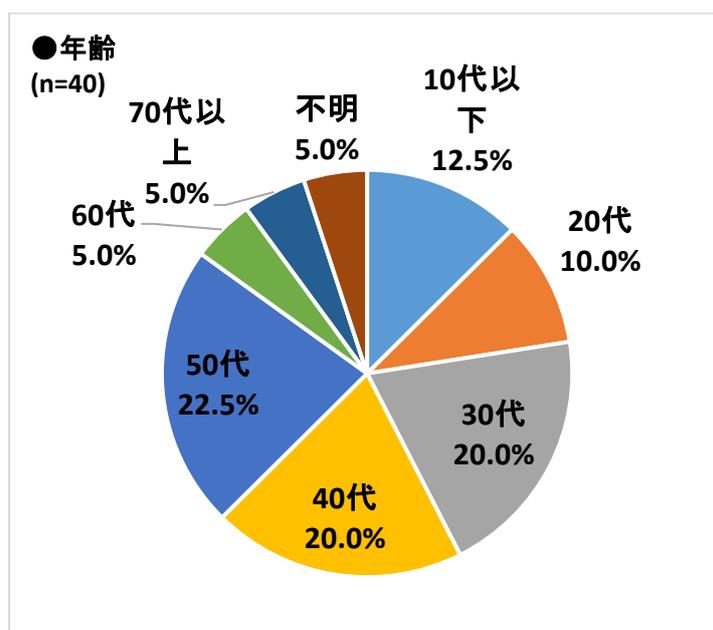
2.1.1.1 性別

- 回答者を男女別にみると、<女性>が5割以上を占めている。



2.1.1.2 年齢

- 回答者の年齢は<50代>が2割強と最も多く、次いで<30代>と<40代>が2割となっている。
- イベントへの出展者に、企業や各種団体に加え、高校、大学が含まれていたことから、<10代以下><20代>といった若い世代の回答が1割を超えたと考えられる。
- これに対して、本イベントはSDGsに特化したイベントであり、市街地から離れた場所で行われたこともあって、<60代><70代以上>の高齢者は少なかったと考えられる。



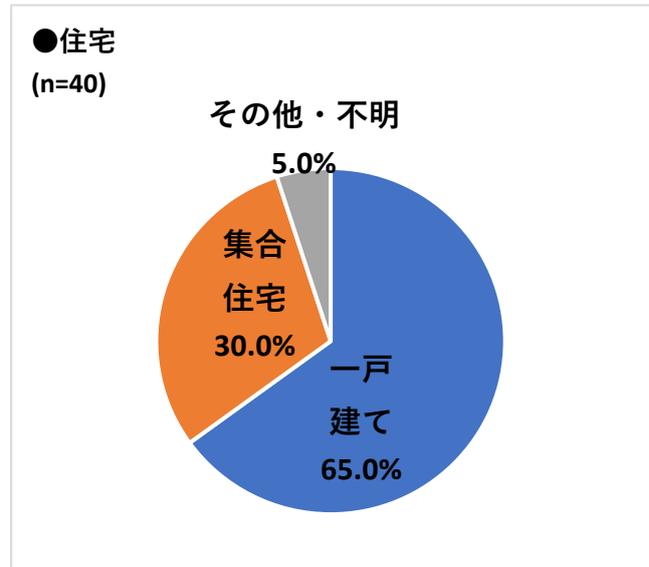
2.1.1.3 居住地域

- 回答者を居住地域別にみると、名古屋市在住者が最も多く全体の3割を占め、尾張地域が5割を超えている。
- 本レポートでは、回答者数が少ないため、昨年度まで行ってきた地域別の集計、分析は行わないこととした。

項目	回答者数	割合
名古屋市、日進市などの「尾張地方」	21	52.5%
名古屋市	12	30.0%
常滑市	2	5.0%
春日井市	2	5.0%
岩倉市	1	2.5%
江南市	1	2.5%
津島市	1	2.5%
半田市	1	2.5%
扶桑町	1	2.5%
豊田市などの「西三河地方」	8	20.0%
豊田市	2	5.0%
岡崎市	2	5.0%
安城市	1	2.5%
刈谷市	1	2.5%
西尾市	1	2.5%
みよし市	1	2.5%
その他・不明等	11	27.5%
岐阜県	3	7.5%
三重県	2	5.0%
不明	6	15.0%
総計	40	100.0%

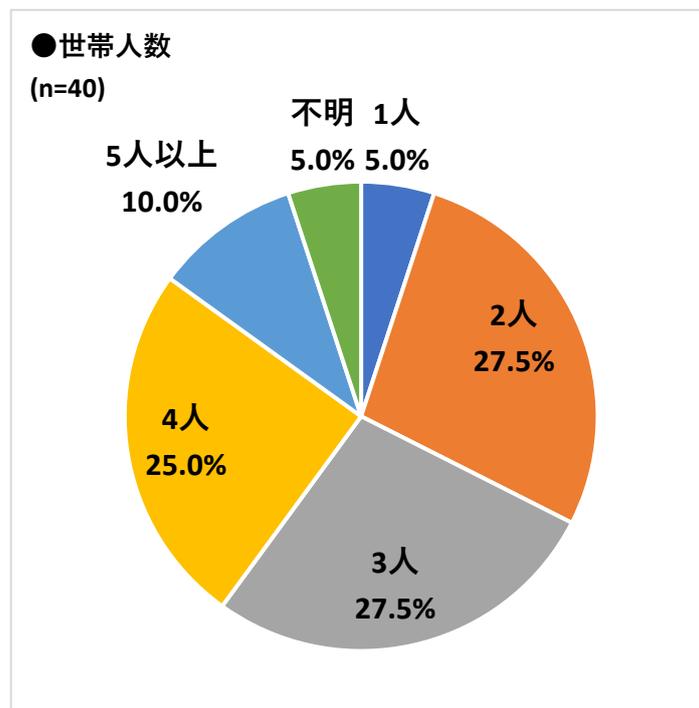
2.1.1.4 回答者の住宅

- 回答者の住宅は、6割強が<一戸建て>であり、<集合住宅>が3割となっている。



2.1.1.5 世帯人数

- 世帯人数については、<2人>世帯と<3人>世帯がそれぞれ3割弱、ついで、<4人>世帯が多くなっている。
- 一方、<5人以上>の世帯が1割と少なくなっている。



2.1.1.6 回答者の属性別回答者数

属性項目			回答者数	
居住地域	性別	年齢		
名古屋、日進市など 「尾張地方」	男性	20代	1	11
		30代	3	
		40代	2	
		50代	4	
		70代以上	1	
	女性	20代	1	10
		30代	4	
		40代	2	
		50代	2	
		60代	1	
豊田、西三河など 「地方」	男性	50代	1	1
	女性	10代以下	2	7
		20代	2	
		40代	2	
50代	1			
その他・不明等	男性	10代以下	1	4
		40代	1	
		50代	1	
		70代以上	1	
	女性	10代以下	2	5
		30代	1	
		40代	1	
		60代	1	
不明		2	2	
総計			40	

属性項目			回答者数		
居住地域	住宅	世帯人数			
名古屋、日進市など 「尾張地方」	一戸建て	2人	3	14	
		3人	7		
		4人	3		
		6人	1		
		1人	2		
	集合住宅	2人	4	7	
		3人	1		
	豊田、西三河など 「地方」	一戸建て	3人	1	6
			4人	4	
5人			1		
集合住宅		2人	1	2	
		5人	1		
その他・不明等	一戸建て	2人	1	6	
		3人	1		
		4人	3		
		5人	1		
	集合住宅	2人	2	3	
		3人	1		
	不明		2	2	
総計			40		

3. 家庭の省エネアンケート

3.1 家電ごとの省エネ行動の実施状況

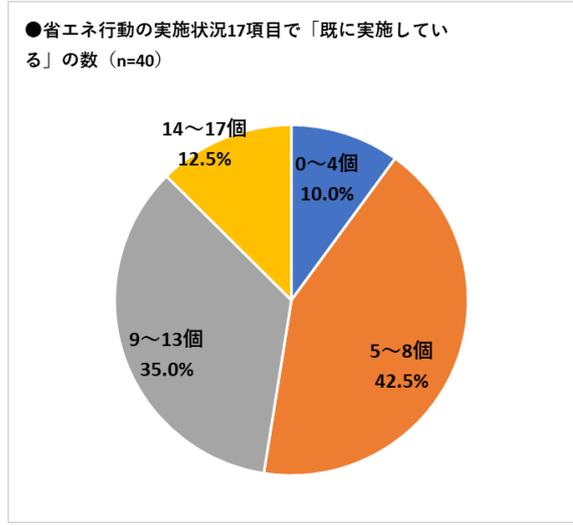
3.1.1 全体

- 家庭の省エネ行動に関する全 17 項目の実施状況について、それぞれ実施の有無、または実施意向についてたずねた結果は下表の通りである。
- 「冷蔵庫」「照明器具」「テレビ」「エアコン（設定温度の目安）」「風呂給湯器（シャワーは流したままにしない）」「自動車」に関わる省エネ行動は、「既に実施している」割合が高く、省エネを意識した使用の仕方が浸透していることがうかがえる。
- 「エアコン（フィルター清掃）」については、「既に実施している」が2割強と少ないが、「これから実施したいと思う」割合が過半数を超えており、多くの回答者が実施する必要のある省エネ行動と認識しながら、実際にはなかなか実施できていない省エネ行動であることがうかがえる。
- 17 項目のいずれも「これからも実施するのは難しい」の割合は低いが、その中で「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」「エアコン（設定温度の目安）（フィルター清掃）」は比較的高い割合になっている。
- 「電気カーペット」「ガスファンヒーター」「石油ファンヒーター」は「持っていない/該当しない」の割合が5割を超えており、使用家庭の少ない家電になっている。

●省エネ行動の実施状況 (n=40)

		既に実施している	これから実施したいと思う	これからも実施するのは難しい	持っていない/該当しない	無回答
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する	67.5%	30.0%	0.0%	2.5%	0.0%
	2 物を詰め込みすぎないようにする	75.0%	20.0%	2.5%	2.5%	0.0%
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する	55.0%	37.5%	2.5%	2.5%	2.5%
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	65.0%	17.5%	17.5%	0.0%	0.0%
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する	25.0%	57.5%	17.5%	0.0%	0.0%
風呂給湯器	7 間隔をあけずに入浴する	42.5%	35.0%	22.5%	0.0%	0.0%
	8 シャワー（温水）は流したままにしない	80.0%	15.0%	2.5%	0.0%	2.5%
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く	40.0%	37.5%	12.5%	10.0%	0.0%
電気カーペット	10 設定温度は低めにする	35.0%	12.5%	2.5%	50.0%	0.0%
石油ファンヒーター	11 室温は20℃を目安にする	27.5%	10.0%	5.0%	55.0%	2.5%
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす	30.0%	10.0%	0.0%	55.0%	5.0%
ガスファンヒーター	13 室温は20℃を目安にする	30.0%	10.0%	2.5%	55.0%	2.5%
	14 寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	37.5%	5.0%	0.0%	55.0%	2.5%
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	75.0%	2.5%	0.0%	22.5%	0.0%
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ	67.5%	10.0%	0.0%	22.5%	0.0%
	17 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	65.0%	12.5%	0.0%	22.5%	0.0%

- 家電使用の省エネ行動 17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数を見ていくと、回答者の 4 割強が「5～8 個」の項目を実施していると答えており、次いで、3 割強の回答者が「9～13 個」の項目を実施していると答えている。
- 家電使用の省エネ行動 17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目数のうち、「0～4 個」と「5～8 個」と答えた回答者を合わせると過半数を超えており、実施されている省エネ行動はあまり多くないことがわかる。

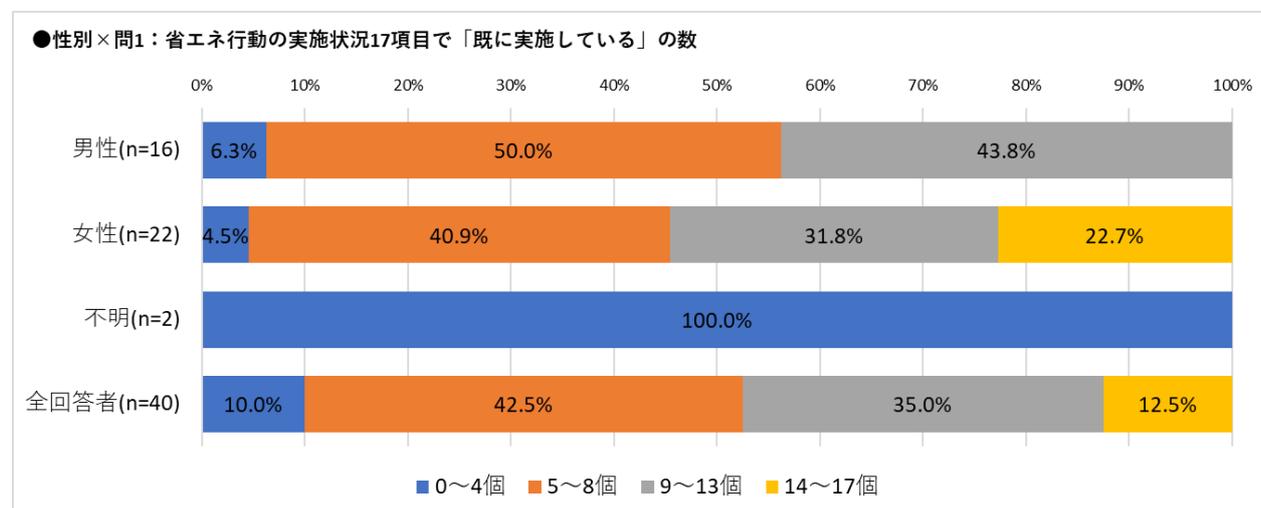


3.1.2 男女別

- 男女別に家電使用の省エネ行動における「既に実施している」の割合をみると、全般的に大きな差は見られないものの、「自動車」の運転に関わる 3 項目をのぞく、すべての項目で<女性>の「既に実施している」の割合が<男性>より高くなっている。
- その中で、特に「電気ポット」「ガスファンヒーター（早めに OFF）」で、<女性>の「既に実施している」の割合が<男性>よりもかなり高い。
- 「これからも実施するのは難しい」の割合をみると、「冷蔵庫（詰め込みすぎない）」「テレビ」「エアコン」「風呂給湯器」「電気ポット」で、<男性>の「これからも実施するのは難しい」の割合が<女性>よりも高い。

省エネ行動	性別	「既に実施している」			「これからも実施するのは難しい」		
		男性 (n=16)	女性 (n=22)	不明 (n=2)	男性 (n=16)	女性 (n=22)	不明 (n=2)
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する	68.8%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2 物を詰め込みすぎないようにする	68.8%	86.4%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える	75.0%	77.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する	50.0%	63.6%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28°C、冬の暖房時の室温は20°Cを目安にする	62.5%	68.2%	50.0%	18.8%	13.6%	50.0%
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する	25.0%	27.3%	0.0%	25.0%	9.1%	50.0%
風呂 給湯器	7 間隔をあけずに入浴する	43.8%	45.5%	0.0%	25.0%	18.2%	50.0%
	8 シャワー（温水）は流したままにしない	68.8%	86.4%	100.0%	6.3%	0.0%	0.0%
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く	18.8%	59.1%	0.0%	31.3%	0.0%	0.0%
電気 カーペット	10 設定温度は低めにする	31.3%	40.9%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
石油ファン ヒーター	11 室温は20°Cを目安にする	18.8%	36.4%	0.0%	6.3%	4.5%	0.0%
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす	25.0%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ガスファン ヒーター	13 室温は20°Cを目安にする	25.0%	36.4%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
	14 寝る前や出掛けのときは早めにOFFにする	18.8%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	81.3%	72.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ	75.0%	63.6%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	75.0%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- 17項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数を男女別にみると、<男性>は「0～4個」「5～8個」の項目を実施しているという回答が<女性>より多く、逆に「14～17個」の項目を実施していると回答した<女性>は2割強いるのに対して男性の回答者はいない。



3.1.3 年齢別

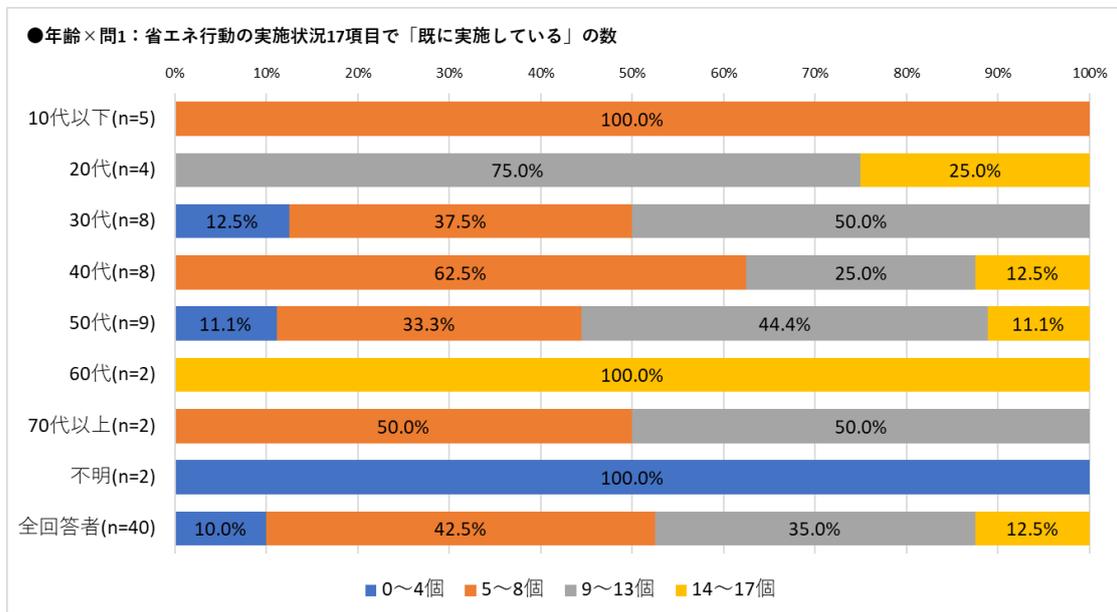
- 年齢別に家電使用の省エネ行動における「既の実施している」の割合を見ると、60歳以上の回答者が少ないため、参考値となるが、全体的に<60代><70代>の実施している割合が他の年齢よりも高く、逆に<30代><40代>の割合が低くなっている。
- <30代>と<40代>の「既の実施している」の割合は同じような傾向が見られ、「エアコン（フィルター清掃）」「電気カーペット」「ガスファンヒーター（室内温度の目安）」の割合が他の年齢よりも低くなっている。

		「既の実施している」							
		年齢	10代 (n=5)	20代 (n=4)	30代 (n=8)	40代 (n=8)	50代 (n=9)	60代 (n=2)	70代 (n=2)
省エネ行動									
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する		60.0%	50.0%	75.0%	100.0%	55.6%	100.0%	50.0%
	2 物を詰め込みすぎないようにする		100.0%	75.0%	87.5%	87.5%	55.6%	100.0%	50.0%
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える		100.0%	50.0%	62.5%	87.5%	77.8%	100.0%	50.0%
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する		60.0%	100.0%	62.5%	37.5%	55.6%	100.0%	0.0%
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする		60.0%	50.0%	62.5%	75.0%	55.6%	100.0%	100.0%
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する		0.0%	50.0%	12.5%	12.5%	44.4%	50.0%	50.0%
風呂 給湯器	7 間隔をあけずに入浴する		20.0%	75.0%	25.0%	62.5%	44.4%	100.0%	0.0%
	8 シャワー（温水）は流したままにしない		80.0%	100.0%	75.0%	62.5%	77.8%	100.0%	100.0%
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く		60.0%	50.0%	25.0%	50.0%	33.3%	50.0%	50.0%
電気 カーペット	10 設定温度は低めにする		20.0%	50.0%	25.0%	25.0%	55.6%	50.0%	50.0%
石油ファン ヒーター	11 室温は20℃を目安にする		20.0%	50.0%	25.0%	25.0%	11.1%	100.0%	50.0%
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす		20.0%	50.0%	37.5%	12.5%	11.1%	100.0%	100.0%
ガスファン ヒーター	13 室温は20℃を目安にする		40.0%	75.0%	12.5%	12.5%	33.3%	50.0%	50.0%
	14 寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする		60.0%	75.0%	25.0%	25.0%	44.4%	50.0%	0.0%
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む		0.0%	100.0%	87.5%	75.0%	88.9%	100.0%	100.0%
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ		0.0%	100.0%	87.5%	50.0%	88.9%	50.0%	100.0%
	17 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンプレーキを活用）		0.0%	50.0%	87.5%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- 年齢別に「これからも実施するのは難しい」の割合をみると、いずれの年齢も「エアコン（室内温度の目安）」「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」「電気ポット」が高い。
- <20代>と<60代>では、「これからも実施するのは難しい」と答えた項目はない。
- <10代>の「エアコン（設定温度の目安）」「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」を「これからも実施するのは難しい」と答えた割合が4割と高くなっている。
- <30代>の「エアコン（フィルター清掃）」の「これからも実施するのは難しい」と答えた割合が5割と高くなっている。
- 回答者数が少ないため、参考値ではあるが、<70代>の「冷蔵庫（詰め込みすぎない）」「テレビ」「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」を「これからも実施するのは難しい」と答えた割合が他の年齢と比べて高くなっている。

		「これからも実施するのは難しい」							
		年齢	10代 (n=5)	20代 (n=4)	30代 (n=8)	40代 (n=8)	50代 (n=9)	60代 (n=2)	70代 (n=2)
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	40.0%	0.0%	12.5%	12.5%	22.2%	0.0%	0.0%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	40.0%	0.0%	25.0%	25.0%	11.1%	0.0%	50.0%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	20.0%	0.0%	12.5%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	11.1%	0.0%	0.0%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- 17 項目の中で「既の実施している」と答えた項目の数を年齢別にみると、<10 代以下>は実施している項目が特に少なくなっているが、家族のなかでその役割を担っていないことによるのではないかと考えられる。
- <60 代>はサンプル数が少ないため、参考値ではあるが、全員が「14~17 個」と答えている。



3.1.4 世帯人数別

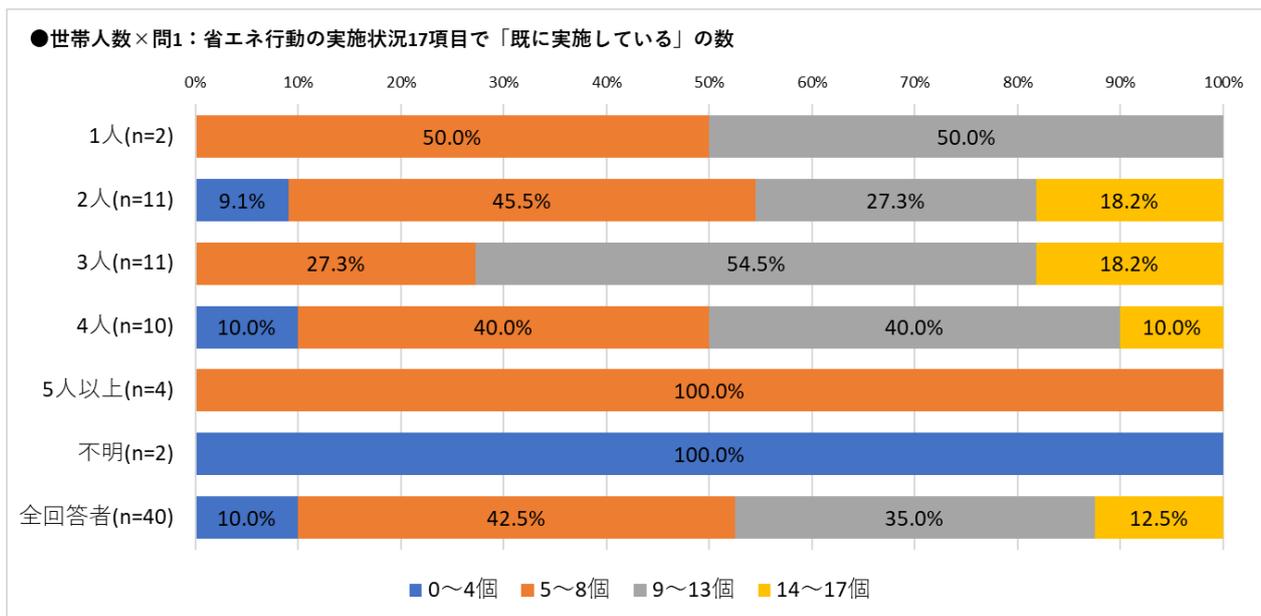
- 回答者の家庭の世帯人数別に「既に実施している」の割合をみると、<1人>世帯と<2人>世帯で「電気カーペット」の、<3人>世帯で「石油ファンヒーター」の、<4人>世帯で「ガスファンヒーター」の実施している割合が他の世帯に比べて高くなっている。
- <2人>世帯で「エアコン（フィルター清掃）」の実施している割合が低くなっている。
- 「自動車」の運転の省エネ行動については、<2人>世帯と<3人>世帯の実施している割合が高い。

		世帯人数	「既に実施している」				
			1人 (n=2)	2人 (n=11)	3人 (n=11)	4人 (n=10)	5人以上 (n=4)
省エネ行動	1	設定温度を強から中に変更する	100.0%	63.6%	72.7%	70.0%	75.0%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	100.0%	72.7%	90.9%	80.0%	50.0%
冷蔵庫	3	白熱電球をLED電球に取り替える	50.0%	63.6%	72.7%	90.0%	100.0%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	50.0%	63.6%	72.7%	90.0%	100.0%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	0.0%	54.5%	72.7%	60.0%	50.0%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28°C、冬の暖房時の室温は20°Cを目安にする	50.0%	81.8%	63.6%	50.0%	75.0%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	50.0%	18.2%	36.4%	30.0%	0.0%
風呂 給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	100.0%	36.4%	54.5%	40.0%	25.0%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	50.0%	81.8%	90.9%	70.0%	75.0%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	50.0%	27.3%	63.6%	20.0%	75.0%
電気 カーペット	10	設定温度は低めにする	50.0%	63.6%	27.3%	20.0%	25.0%
石油ファン ヒーター	11	室温は20°Cを目安にする	0.0%	27.3%	45.5%	30.0%	0.0%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	0.0%	27.3%	54.5%	30.0%	0.0%
ガスファン ヒーター	13	室温は20°Cを目安にする	0.0%	27.3%	27.3%	60.0%	0.0%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	0.0%	36.4%	27.3%	70.0%	25.0%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	50.0%	90.9%	90.9%	60.0%	50.0%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	50.0%	72.7%	81.8%	60.0%	50.0%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	50.0%	72.7%	81.8%	60.0%	50.0%

- 世帯人数別に「これからも実施するのは難しい」の割合をみると、全体的に「エアコン」「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」「電気ポット」の割合が高く、なかでも<5人以上>世帯の「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」の割合が他世帯に比べて特に高くなっている。

		「これからも実施するのは難しい」				
		世帯人数				
省エネ行動		1人 (n=2)	2人 (n=11)	3人 (n=11)	4人 (n=10)	5人以上 (n=4)
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2 物を詰め込みすぎないようにする	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	50.0%	0.0%	9.1%	40.0%	0.0%
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する	0.0%	27.3%	9.1%	10.0%	25.0%
風呂給湯器	7 間隔をあけずに入浴する	0.0%	18.2%	18.2%	20.0%	50.0%
	8 シャワー（温水）は流したままにしない	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く	0.0%	0.0%	9.1%	30.0%	25.0%
電気カーペット	10 設定温度は低めにする	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
石油ファンヒーター	11 室温は20℃を目安にする	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ガスファンヒーター	13 室温は20℃を目安にする	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	14 寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

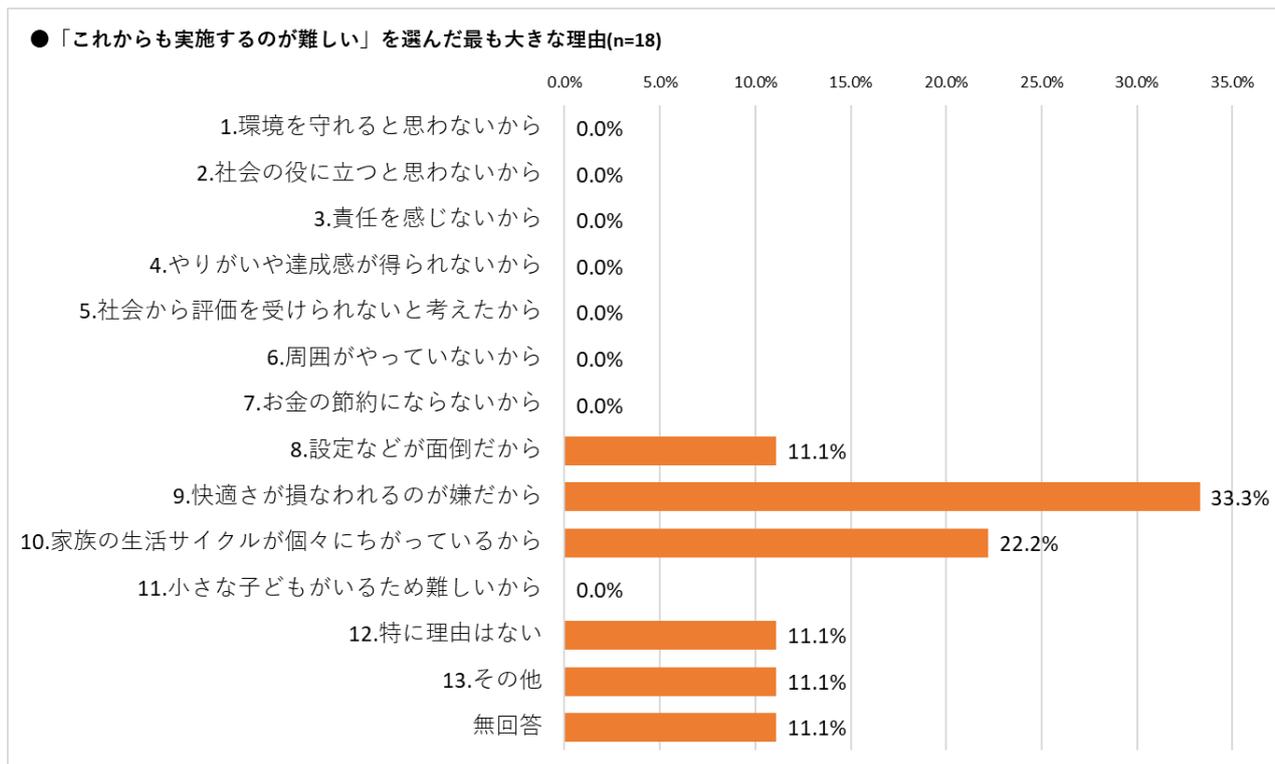
- 17項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数を世帯人数別にみると、<3人>世帯が実施している項目の数が多くなっている。



3.2 省エネ行動の実施が難しい理由

3.2.1 全体

- 設問の家電使用における省エネ行動 17項目のうち 1項目でも「これからも実施するのは難しい」と答えた回答者 18名を対象に、その理由（最大の理由 1つのみを選択）についてたずねたところ、その理由はかなり限定的になっており、「快適さが損なわれるのが嫌だから」が 3割強と最も多く、次いで「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」が 2割強となっている。
- 特に、「エアコン（設定温度の目安）」を「これからも実施するのは難しい」と答えた回答者 7名については、そのうちの 7割強にあたる 5名が「快適さが損なわれるのが嫌だから」と回答している。また、「風呂給湯器（間隔をあげずに入浴）」を「これからも実施するのは難しい」と答えた回答者 9名のうち 4割強にあたる 4名が「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」と回答している。

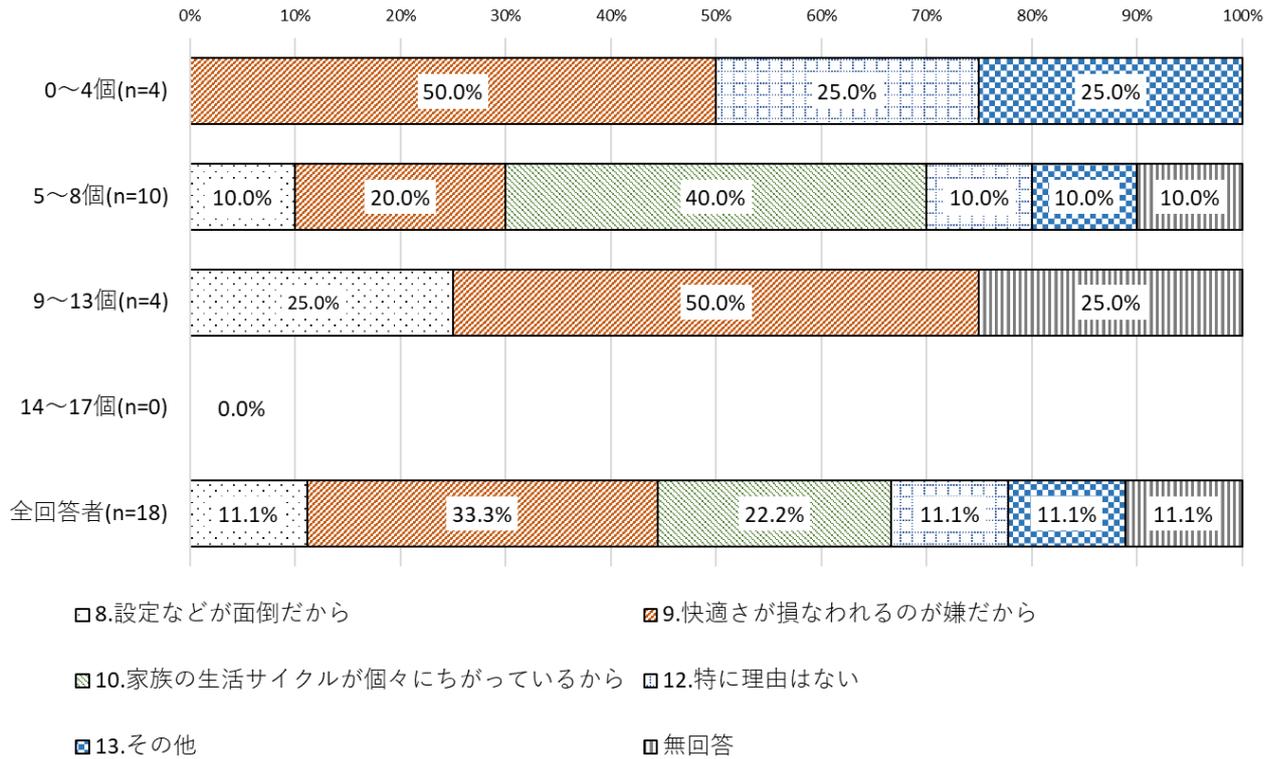


【その他（回答記述 2）】

6：構造上困難、7：ライフスタイル（夜勤等）が異なるため
そうじがめんどくさい…。

- 省エネ行動の実施状況 17 項目で「既にも実施している」の項目数別に「これからも実施するのは難しい」の理由をみていくと、省エネ行動の実施項目が<0~4 個>の回答者と<9~13 個>の回答者は「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が特に高くなっている。
- 省エネ行動の実施項目が<5~8 個>の回答者では、「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」の割合が最も高く、次いで「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が高くなっている。

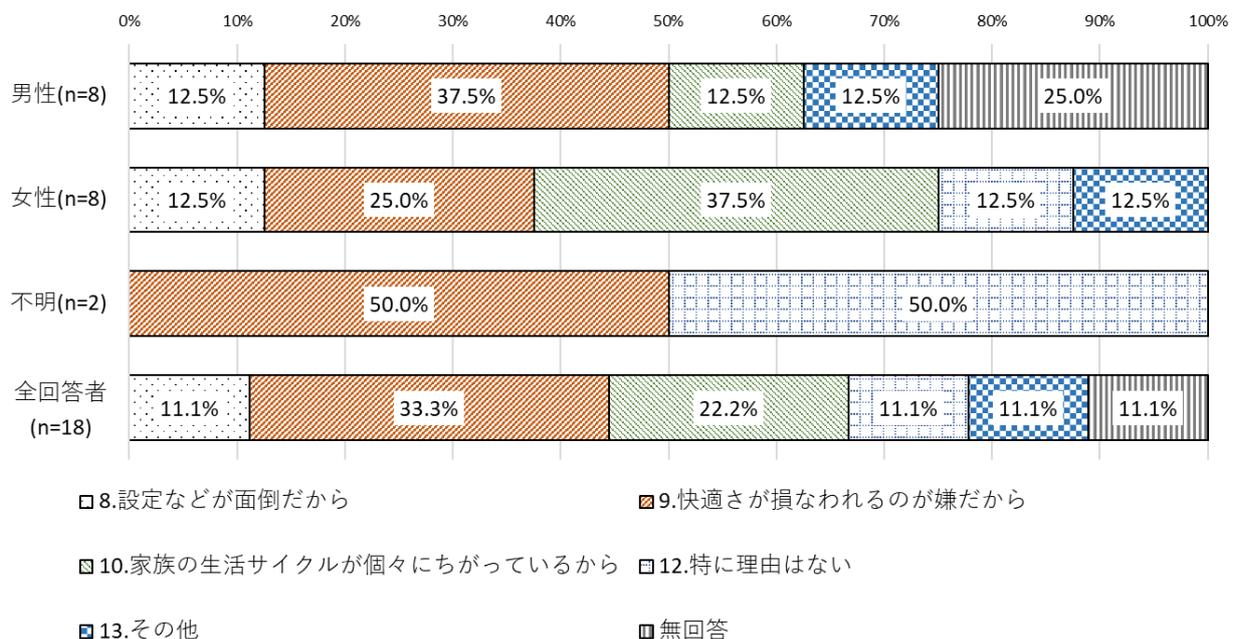
●省エネ行動の実施状況17項目で「既の実施している」の数×「これからも実施するのは難しい」を選んだ
最も大きな理由



3.2.2 男女別

- 男女別に実施が難しい理由をみると、<男性>では「快適さが損なわれるのが嫌だから」が最も多く、<女性>では「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」が最も多くなっている。

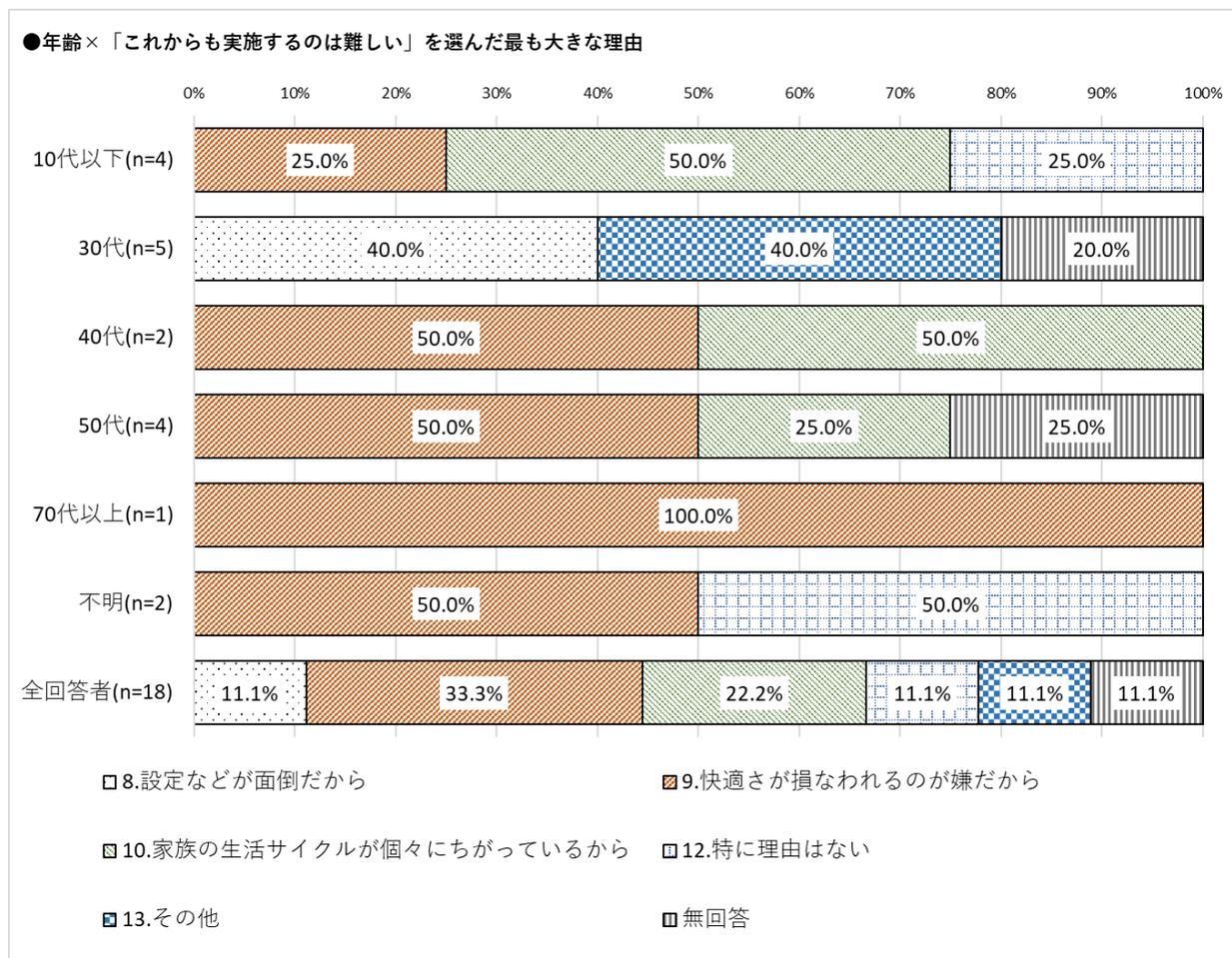
●性別×「これからも実施するのは難しい」を選んだ最も大きな理由



3.2.3 年齢別

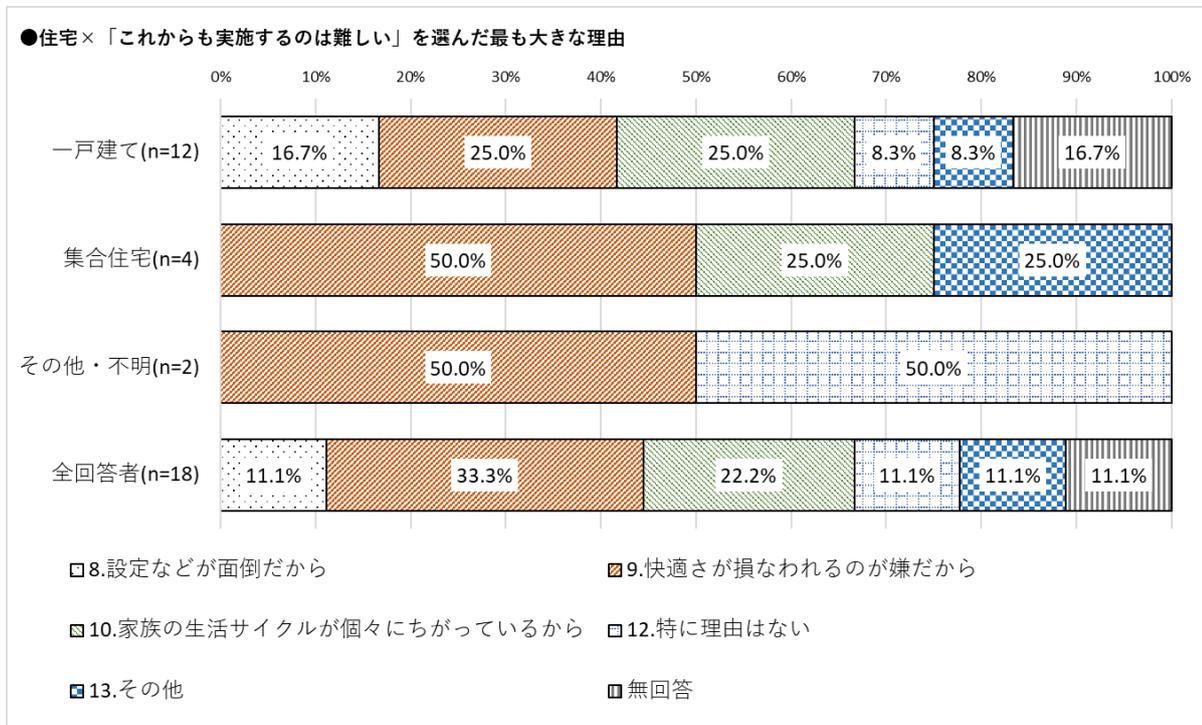
- 回答者の年齢別に実施が難しい理由をみると、<30代>は「設定などが面倒だから」の割合が高くなっているが、その他の年齢では「快適さが損なわれるのが嫌だから」「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」の割合が高い。

※<20代>と<60代>は「これからも実施するのは難しい」と回答した項目はない。



3.2.4 住宅別

- 回答者の住宅形態別に実施が難しい理由をみると、<一戸建て>居住の回答者は「設定などが面倒だから」の割合が<集合住宅>居住回答者よりも高くなっている。
- <集合住宅>居住の回答者では、「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が高くなっている。



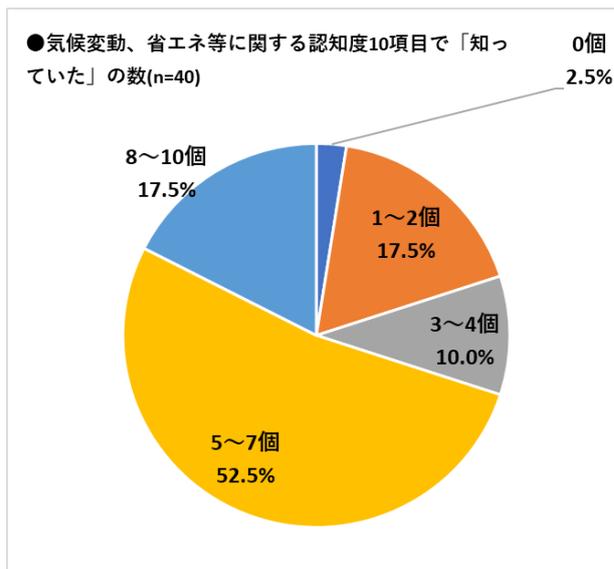
4. 気候変動・省エネに関する認知度アンケート

4.1.1 全体

- 気候変動・省エネに関係する 10 の事柄について、それぞれ知っているか否かをたずねた設問では、「3.地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみでなく、すでに直面しつつあること」「9.LED ランプはとても省エネであること」については 8 割以上の方が、「5.2015 年にパリで開催された COP21 のこと」「10.十年前に比べて今の家電はとても省エネであること」については 7 割程度が「知っていた」と回答しており、認知度が高くなっている。
- 「7.環境省のウェブサイトしんきゅうさん」については、「全く知らなかった」人の割合が 8 割となっており、認知度が低くなっている。
- 「2.過去 100 年間で日本の気温が 1.14℃上昇していること」「4.将来予測で愛知県の実夏日が増加すると予測されていること」については、「聞いたことはある」が 4 割程度となっており、詳しくは知らないがなんとなく耳にしている人が多い話題であることがうかがえる。

		知っていた	聞いたことはある	全く知らなかった	無回答
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書」のことを…	47.5%	32.5%	17.5%	2.5%
2	過去100年間で日本の気温は1.14℃上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8℃の上昇（1986～2005年の平均比）が予測されていることを…	50.0%	40.0%	7.5%	2.5%
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	82.5%	15.0%	2.5%	0.0%
4	将来予測（2076～2095年）によると、愛知県の真夏日（最高気温30℃以上）の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを…	32.5%	42.5%	25.0%	0.0%
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21（気候変動枠組条約 第21回締約国会議）」のことを…	67.5%	25.0%	7.5%	0.0%
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを…	35.0%	7.5%	57.5%	0.0%
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	10.0%	10.0%	80.0%	0.0%
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを…	47.5%	30.0%	22.5%	0.0%
9	LEDランプはとても省エネであることを…	82.5%	17.5%	0.0%	0.0%
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを…	75.0%	20.0%	5.0%	0.0%

- 10 項目のうち「知っていた」と答えた項目の数をみると、<5～7個>の項目を知っていた回答者が 5 割強、次いで<8～10 個>の項目を知っていた回答者が 2 割弱を占め、10 項目のうち半数の<5 個>以上を知っていた回答者は計 8 割と高くなっている。

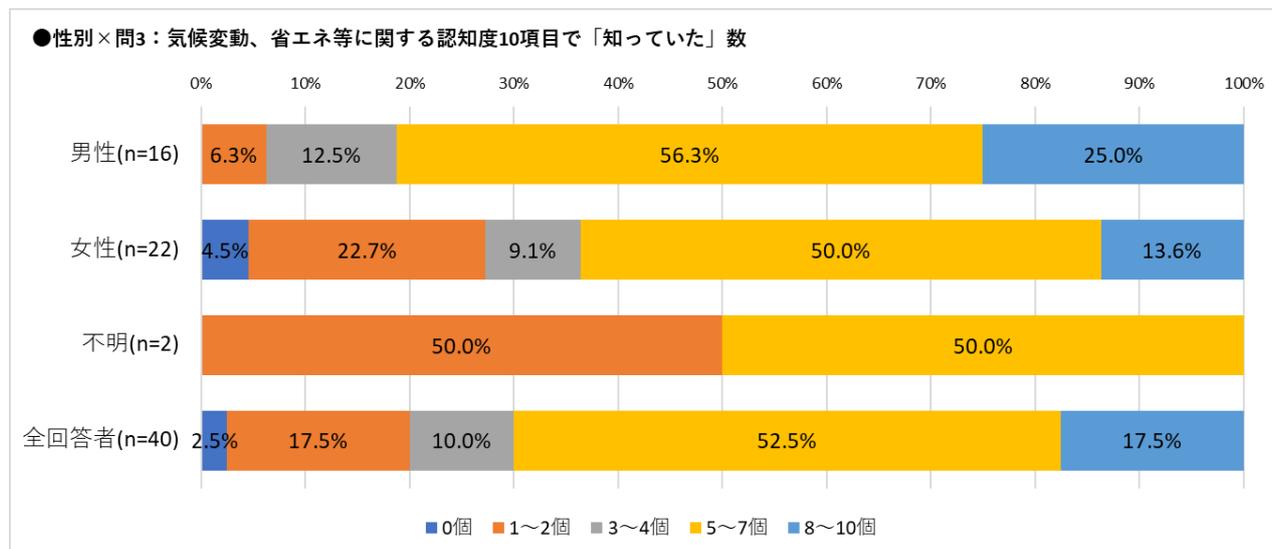


4.1.2 男女別

- 回答者の男女別に気候変動・省エネに関する 10 の事柄に対する認知度をみると、全般的に<男性>の「知っていた」割合がやや高くなっている。
- 特に「1.気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書のこと」「2.過去 100 年間で日本の気温が 1.14℃上昇していること」については、<男性>は 6～7 割強が「知っていた」と答えているが、<女性>は 4 割弱にとどまる。

性別	「知っていた」			「聞いたことはある」			「全く知らなかった」			
	男性 (n=10)	女性 (n=22)	不明 (n=2)	男性 (n=10)	女性 (n=22)	不明 (n=2)	男性 (n=10)	女性 (n=22)	不明 (n=2)	
気候変動、省エネ等に関する事柄										
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書」のことを…	62.5%	36.4%	50.0%	31.3%	36.4%	0.0%	6.3%	22.7%	50.0%
2	過去100年間で日本の気温は1.14℃上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8℃の上昇（1986～2005年の平均比）が予測されていることを…	75.0%	36.4%	0.0%	18.8%	50.0%	100.0%	6.3%	9.1%	0.0%
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	87.5%	81.8%	50.0%	12.5%	13.6%	50.0%	0.0%	4.5%	0.0%
4	将来予測（2076～2095年）によると、愛知県の実夏日（最高気温30℃以上）の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを…	43.8%	27.3%	0.0%	37.5%	45.5%	50.0%	18.8%	27.3%	50.0%
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21（気候変動枠組条約 第21回締約国会議）」のことを…	68.8%	68.2%	50.0%	25.0%	27.3%	0.0%	6.3%	4.5%	50.0%
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを…	43.8%	31.8%	0.0%	12.5%	4.5%	0.0%	43.8%	63.6%	100.0%
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	12.5%	9.1%	0.0%	12.5%	9.1%	0.0%	75.0%	81.8%	100.0%
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを…	50.0%	40.9%	100.0%	31.3%	31.8%	0.0%	18.8%	27.3%	0.0%
9	LEDランプはとても省エネであることを…	81.3%	81.8%	100.0%	18.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを…	81.3%	72.7%	50.0%	18.8%	22.7%	0.0%	0.0%	4.5%	50.0%

- 回答者の男女別に 10 の事柄のうち「知っていた」と答えた項目の数を見ていくと、<女性>よりも<男性>の「知っていた」項目数が多くなっている。



4.1.3 年齢別

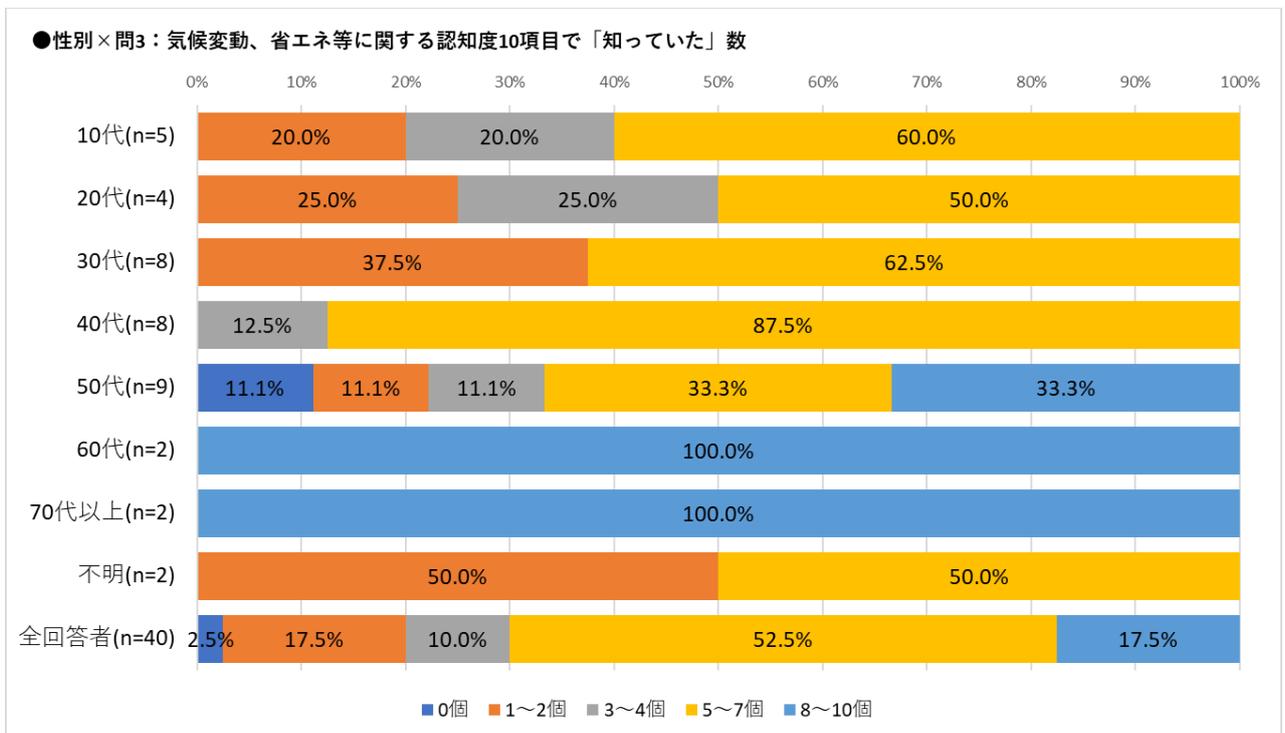
- 回答者の年齢別に気候変動・省エネに関係する 10 の事柄に対する認知度をみると、全般的に年齢が上がるほど、「知っていた」の割合が高くなっている。
- 「4.将来予測で愛知県の実夏日が増加すると予測されていること」については、<60代>以上では全員が「知っていた」と回答しているのに対して、<50代>以下では5割に達していない。
- 「9.LEDランプはとても省エネであること」については、「全く知らなかった」と回答した年齢はない。
- 「3.地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみでなく、すでに直面しつつあること」は、<30代>のみが、「10.十年前に比べて今の家電はとても省エネであること」は<10代>のみが「知らなかった」と答えている。

		「知っていた」						
年齢		10代 (n=5)	20代 (n=4)	30代 (n=8)	40代 (n=8)	50代 (n=9)	60代 (n=2)	70代 (n=2)
気候変動、省エネ等に関する事柄								
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書」のことを…	80.0%	25.0%	37.5%	37.5%	44.4%	50.0%	100.0%
2	過去100年間で日本の気温は1.14°C上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8°Cの上昇（1986～2005年の平均比）が予測されていることを…	80.0%	25.0%	50.0%	62.5%	33.3%	50.0%	100.0%
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	80.0%	100.0%	75.0%	100.0%	77.8%	100.0%	50.0%
4	将来予測（2076～2095年）によると、愛知県の真夏日（最高気温30°C以上）の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを…	0.0%	25.0%	12.5%	37.5%	44.4%	100.0%	100.0%
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21（気候変動枠組条約 第21回締約国会議）」のことを…	80.0%	75.0%	62.5%	50.0%	66.7%	100.0%	100.0%
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを…	0.0%	25.0%	25.0%	37.5%	55.6%	100.0%	50.0%
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを…	0.0%	25.0%	50.0%	37.5%	55.6%	100.0%	100.0%
9	LEDランプはとても省エネであることを…	100.0%	50.0%	75.0%	87.5%	77.8%	100.0%	100.0%
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを…	60.0%	50.0%	75.0%	87.5%	77.8%	100.0%	100.0%

		「聞いたことはある」						
年齢		10代 (n=5)	20代 (n=4)	30代 (n=8)	40代 (n=8)	50代 (n=9)	60代 (n=2)	70代 (n=2)
気候変動、省エネ等に関する事柄								
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書」のことを…	0.0%	50.0%	37.5%	50.0%	44.4%	0.0%	0.0%
2	過去100年間で日本の気温は1.14°C上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8°Cの上昇（1986～2005年の平均比）が予測されていることを…	20.0%	75.0%	37.5%	25.0%	55.6%	0.0%	0.0%
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	20.0%	0.0%	12.5%	0.0%	22.2%	0.0%	50.0%
4	将来予測（2076～2095年）によると、愛知県の真夏日（最高気温30°C以上）の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを…	80.0%	50.0%	37.5%	37.5%	44.4%	0.0%	0.0%
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21（気候変動枠組条約 第21回締約国会議）」のことを…	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを…	20.0%	0.0%	0.0%	12.5%	11.1%	0.0%	0.0%
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	22.2%	0.0%	0.0%
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを…	40.0%	50.0%	12.5%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%
9	LEDランプはとても省エネであることを…	0.0%	50.0%	25.0%	12.5%	22.2%	0.0%	0.0%
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを…	20.0%	50.0%	25.0%	12.5%	22.2%	0.0%	0.0%

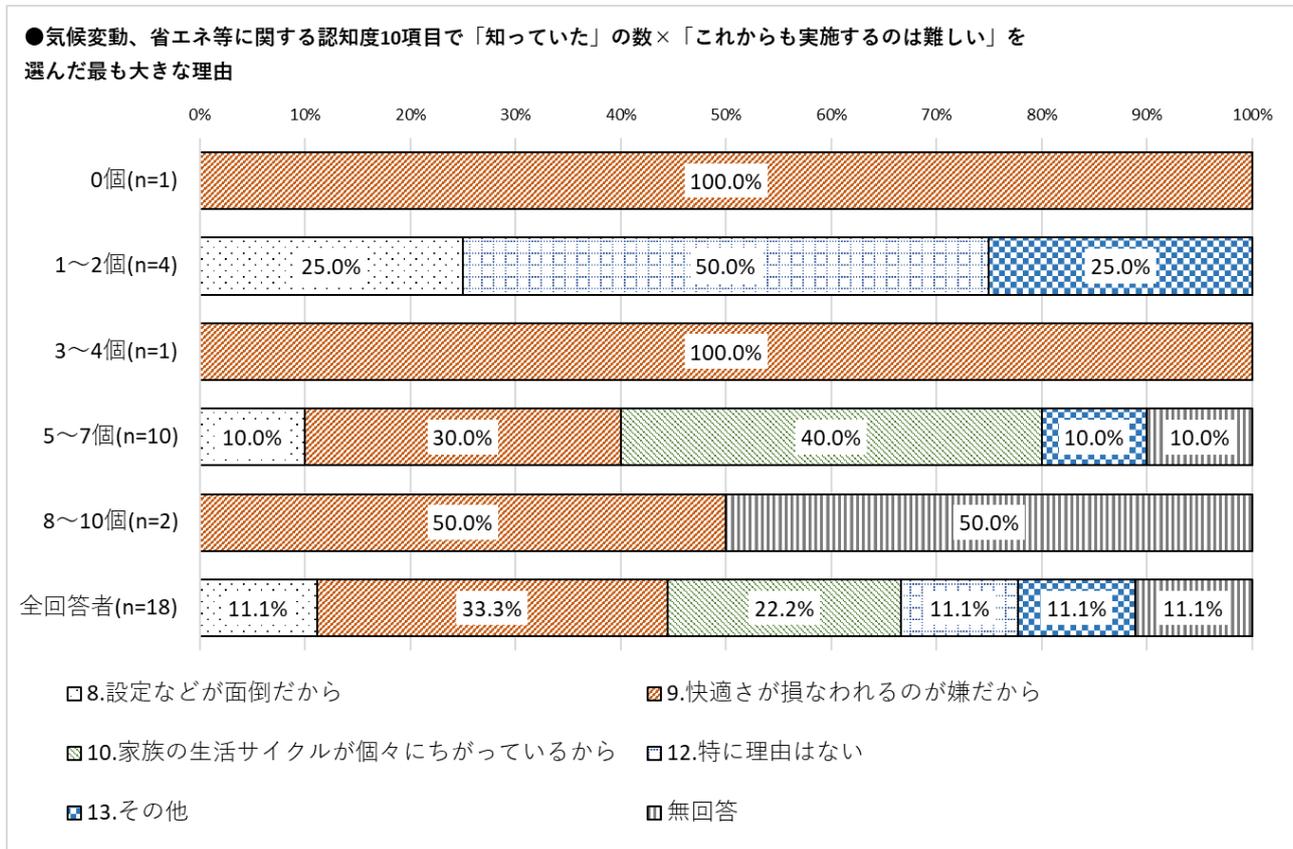
年齢	「全く知らなかった」						
	10代 (n=5)	20代 (n=4)	30代 (n=8)	40代 (n=8)	50代 (n=9)	60代 (n=2)	70代 (n=2)
1	20.0%	25.0%	25.0%	12.5%	11.1%	0.0%	0.0%
2	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	11.1%	0.0%	0.0%
3	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	20.0%	25.0%	50.0%	25.0%	11.1%	0.0%	0.0%
5	20.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	80.0%	75.0%	75.0%	50.0%	33.3%	0.0%	50.0%
7	100.0%	100.0%	75.0%	87.5%	77.8%	50.0%	0.0%
8	60.0%	25.0%	37.5%	12.5%	11.1%	0.0%	0.0%
9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- 回答者の年齢別に 10 項目のうち「知っていた」と答えた項目の数をみていくと、年齢が高くなるほど「知っていた」の数が増える傾向がみられる。



4.1.4 「知っていた」の項目数別にみた省エネ行動が難しい理由

- 10項目のうち「知っていた」と答えた項目数別に、家電の省エネ行動で「これからも実施するのは難しい」を選んだ最も大きな理由をみると、「知っていた」項目数にかかわらず、「家庭の生活サイクルが個々にちがっているから」の割合が高い。



5. 自由記入欄に記述された意見

省エネ等で取り組んでいることや疑問に思っていること、調査の感想などを、調査票末尾の自由記入欄に4名が記述をした。その内容は下記の通りである。

省エネの細かいコツを家電購入時に知ることができると便利
進めていきます SDGs
こまめにコンセントを抜くとどれくらいCO2削減に効果があるのか？
買いかえのタイミング

令和3年度
地域における地球温暖化防止活動促進事業
(愛知県地球温暖化防止活動推進センター)

年次レポート (家庭の省エネアンケート、及び、気候変動・
省エネに関する認知度アンケートの集計結果)

報 告 書

発行 令和4年2月

問合せ先 一般社団法人 環境創造研究センター
〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 2-4-1
TEL : 052-934-7295 FAX : 052-932-7296
E-mail : cca-info@kankyosoken.or.jp
URL : <http://www.kankyosoken.or.jp/>